

都市再生整備計画(第3回変更)

おおみやえきおよ
大宮駅及びさいたま

しんとしんしゅうへん
新都心周辺地区

さいたま
埼玉県

し
さいたま市

平成20年8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	さいたま市	地区名	大宮駅及びさいたま新都心周辺地区	面積	160 ha
計画期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度	交付期間	平成 16 年度	～	平成 20 年度

目標

大宮駅周辺地区における賑わいの再生とさいたま新都心地区との連携強化による一体的な都市拠点の整備

目標1 大宮駅周辺における、交通機能の改善と賑わい

目標2 市民と連携した、氷川参道をはじめとする都心における貴重な自然・歴史・文化的資源の保全とまちづくり(賑わい再生と回遊ネットワーク化に自然・歴史・文化の保全・活用を図る)

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当地区は、首都圏の北の玄関口「大宮駅」と、国鉄操車場跡地の土地利用転換により誕生した「さいたま新都心駅」の周辺で形成されている。

大宮駅は、古くから鉄道のまちとして発展し、現在では東北新幹線を筆頭に5方面の新幹線とJR在来線、私鉄線を含め12路線が乗り入れる国内屈指の鉄道ターミナルとなっている。駅周辺には商業・業務機能が多く集積し、交通結節点としての地勢上の特色を活かしたまちづくりを進めている。また、さいたま新都心駅周辺では、官公庁施設の移転や大規模集客施設の立地などが進んでいる。

両駅周辺のまちづくりの経緯は全く異なるものではあるが、三市合併から政令市へ移行し政令指定都市に相応しい風格ある都市づくりを進めていく上で、両地区の広域的な交通結節点としてのポテンシャルや、近接した街なみの連続性、大宮駅周辺の商業・業務機能等とさいたま新都心駅周辺の行政機能の連携の強化を図ることは、本市の都心地区の再生を進めていく意味で非常に重要である。

また、大宮駅東口では、懸案となっていた市街地再開発事業が中止となり、改めて駅前の都市再生を行うべく都市再生プランを策定し、新たなまちづくりを進めることにしている。一方で、両地区を結ぶ氷川参道は、既成市街地の貴重な自然・歴史的資産をもった緑の回廊として市民の愛着を集めており、地域の自治会長や住民等が参集し、平成7年度から「氷川の杜うらおいのあるまちづくり推進協議会」が発足し、過去にパネルディスカッション1回(H8)、シンポジウム2回(H11、H13)、交通社会実験(H14)、氷川参道の樹木調査等を市民自らの手で行うなど、市民団体による保全やまちづくりへの活用などの動きも起きていることもあり、これらの流れを包括的なまちづくりへと結び付けていくことが必要であるといえる。

課題

大宮駅東口では、脆弱な道路状況による慢性的な交通渋滞や、新都心との連携不足が指摘されている。また、交通要所であるが故に開発圧力が強く、無秩序な街なみ形成が懸念されている。

大宮駅西口では、駅前に集中する歩行者等を処理するペDESTリアンデッキが老朽化し、バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点からも改修が必要である。(平成12年休日8時間歩行者交通量202千人)

さいたま新都心周辺地区では、民間オフィスビルやショッピングモールなどの整備が進められているが、道路が未整備な部分もあり、歩行者の通行が危険になっている箇所がある。新都心へのアクセス道路の整備と民間所有地の適正な土地利用誘導が課題である。

来街者や周辺住民のアンケート調査によると、賑わいが不足しているとの指摘が多い。開発されたものの無機質な都市空間が形成されるといった恐れもあり、大宮駅周辺地区とさいたま新都心地区とのリンケージが市街地活性化の鍵となっている。

将来ビジョン(中長期)

さいたま市総合振興計画基本計画(平成16年2月)

本市の将来都市像として、

多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市

見沼の緑と荒川の水に象徴される環境共生都市

若い力の育つゆとりある生活文化都市

を目標としている。本市の都心の1つである大宮駅周辺地区では、広域的な商業・業務機能や交流機能を、また、さいたま新都心周辺地区では、広域行政機能、業務機能、文化機能、交流機能などの機能集積を進めるとともに、両地区の連携を推進し、一体的な都心形成を図っていく。

また、中心市街地においては、都心間の連携の強化、高次都市機能の集積を誘導し、新たな産業の振興、多様な人々の交流の活性化を図る拠点づくりを推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度		
1. 安全で快適なネットワークの構築	箇所	渋滞交差点の箇所(道路センサス)	大宮駅周辺とさいたま新都心地区のネットワーク強化	3箇所	平成11年度	2箇所	平成20年度
2. 駅周辺地域の活性化	人/日	大宮駅及びさいたま新都心駅の乗降客数	大宮駅東口の都市再生と新都心の活性化を測る	493,540	平成13年度	500,000	平成20年度
3. 市民のまちづくりへの期待度	%	地域活動への参加比率(市民意識調査)	市民が自主的にまちづくり活動に参加する数を把握することで、まちづくりへの関心度を測る。	33.7	平成13年度	40	平成20年度
4. ヒューマンスケールの回遊性	台/12時間	氷川参道の自転車交通量(12時間)	回遊性強化を参道の自転車交通量で測る	1,580	平成14年度	1,800	平成20年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・政令市の都心地区に相応しい商業機能の拡充及び風格あるまちの顔づくり 大宮駅周辺の再生を目指すことでシンボル軸としての機能強化を図るとともに、社会実験を通して、周辺交通の改善と歩いて楽しい歩行空間整備を図る。また、ユニバーサルデザインに配慮し、人に優しいパブリック空間の整備を図るとともに、大宮駅西口第四地区ではまちの賑わい創出に向けたインフラ整備のグレードや街並み景観、都市空間の整備イメージについて検討する。</p>	<p>提案事業(大宮駅周辺社会実験、大宮駅西口第四地区総合基本設計) 関連事業(大宮駅西口第四地区区画整理事業)</p>
<p>・都市計画道路の整備や歩行者空間の拡充による都心地区として一体性を図る交通体系の強化 さいたま新都心と大宮駅及び周辺地域等を結ぶ骨格的な都市計画道路の整備を進め、都心地区としての連携強化とネットワーク化を図る。 歴史的な街道である中山道の景観に配慮し電線類の地中化・歩車道の分離、氷川参道の再生などにより歩行者ネットワークを構築し、地域全体の回遊性を高める。</p>	<p>街路事業(中山道、新都市南通り線) 高質空間形成施設(氷川参道道路改良工事)</p>
<p>・地域資源を活用した緑と歴史空間の形成 氷川参道を地域の歴史と文化のシンボルとして継承していくために、市民と共同で交通規制についての社会実験を行い、第一段階として一方通行とし、将来的な歩行者専用道路化に向けた計画を策定し整備をする。</p>	<p>地域生活基盤施設(氷川参道一の鳥居広場整備) 高質空間形成施設(氷川参道道路改良工事)</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「氷川の杜うるおいのあるまちづくり推進協議会」 ・「さいたま新都心まちづくりボランティア」 <p>参道周辺でのイベント、維持管理、清掃活動などを継続的に実施できる、地域と一体化したまちづくりを目指す。 地域住民の自発的なまちづくり活動を人的サポートなどで促すことで維持管理、街の案内、イベントの実施などを促すことで、ソフト面から地域と一体化したまちづくりを目指す。</p> <p>街並み形成の誘導を図るための方策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さいたま新都心地区内での建築デザインコードを周辺に波及させていくために、景観形成ガイドラインについて検討を行う。 <p>交付期間中の計画の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付期間中における各種事業をコントロールするために、市庁内に横断的な組織を設置する。 ・目標に向けての効果や、上記事業プログラムの客観性を高めるために、区民会議等を活用したモニタリングに努め、情報の共有化を進める。 	

都市再生整備計画の区域

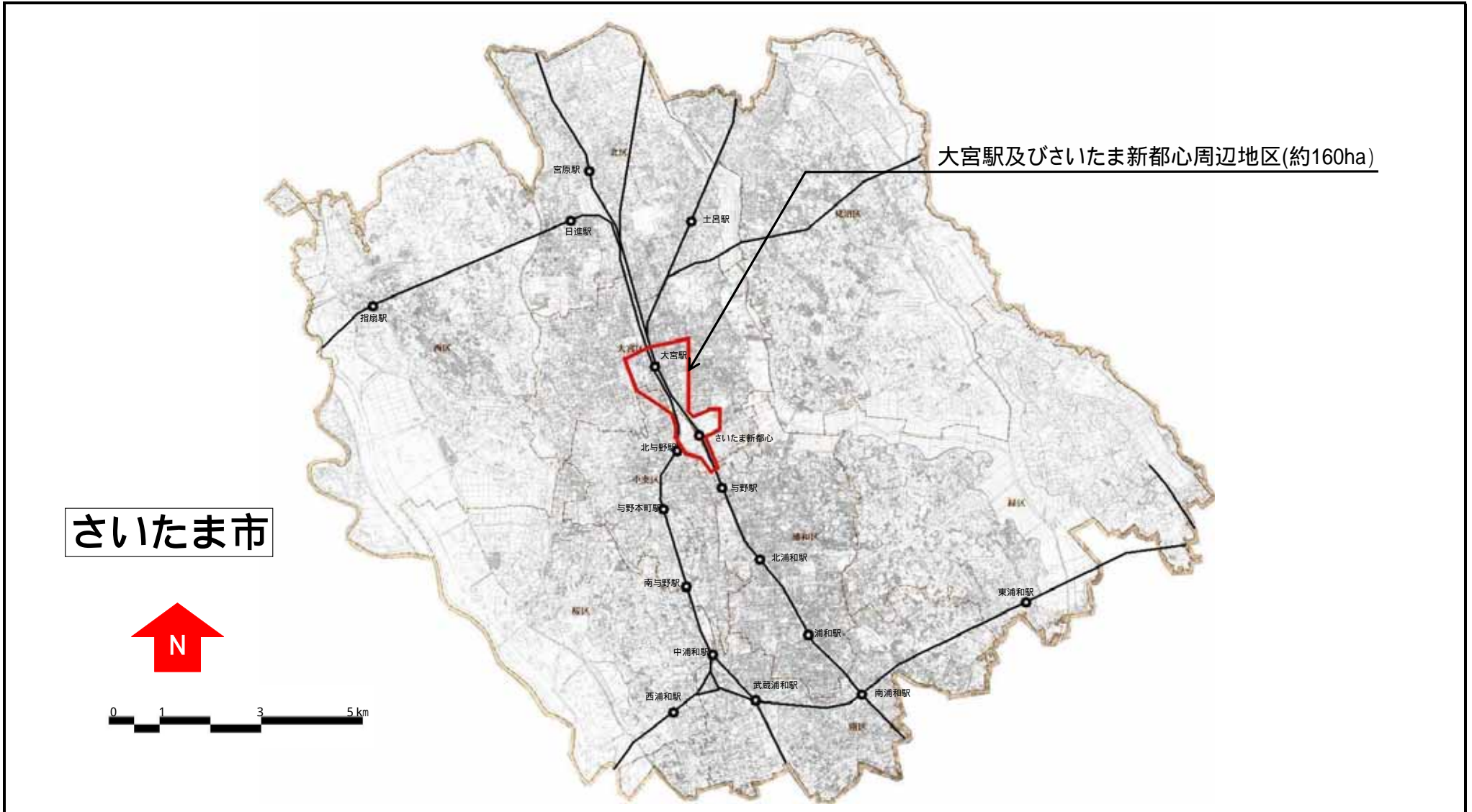
大宮駅及びさいたま新都心周辺地区(埼玉県さいたま市)

面積

160 ha

区域

大宮区(桜木町1丁目の全部、桜木町2丁目の一部、錦町の一部、宮町1・2丁目の一部、高鼻町1・4丁目の一部、大門町1～3丁目
の全部、仲町の全部、東町1・2丁目の一部、下町1～3丁目の全部、浅間町1・2丁目の一部、吉敷町1～4丁目の一部)、中央区(上
落合9丁目の全部、新都心の全部)



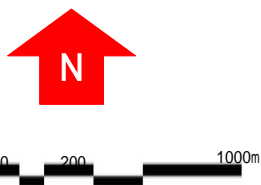
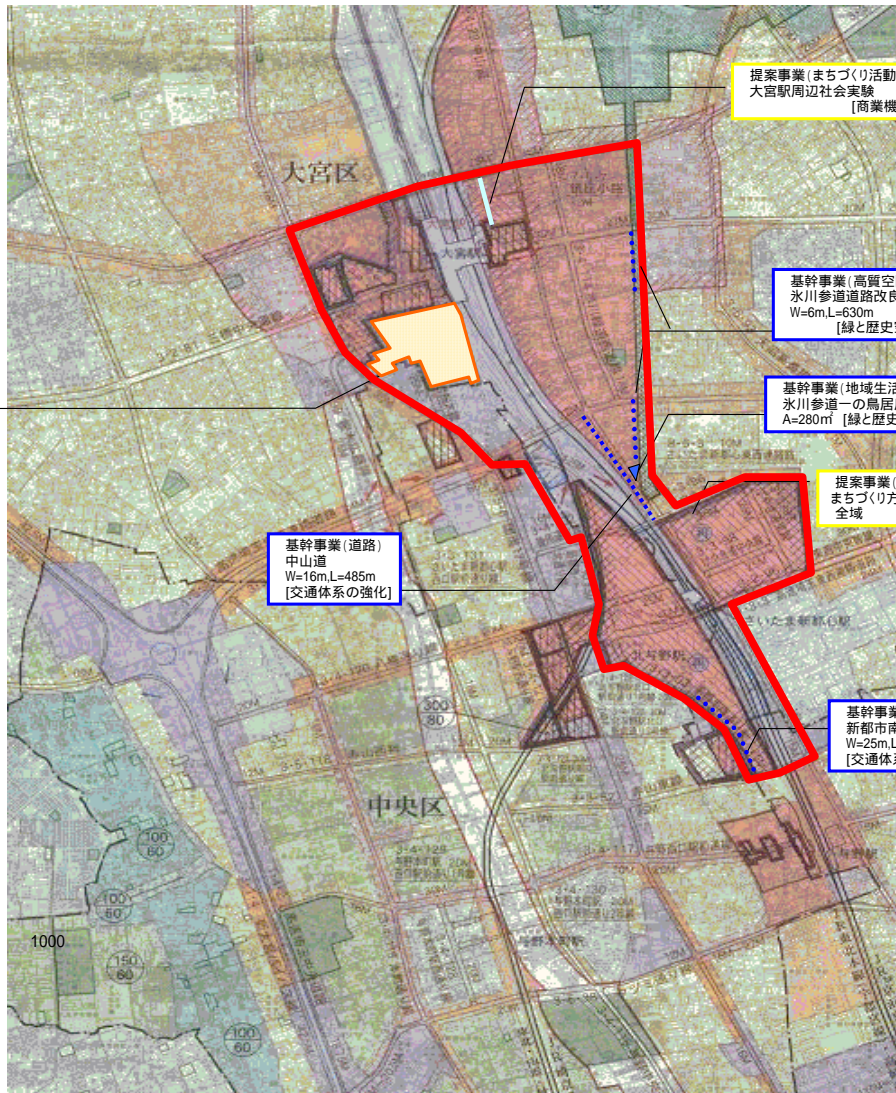
大宮駅及びさいたま新都心周辺地区(埼玉県さいたま市) 整備方針概要図

目標	大宮駅及び周辺地区の都市再生とさいたま新都心地区の賑わい創出、大宮地区との交流軸の形成	代表的な指標	1. 駅周辺地域の活性化	493,540人(平成13年度)	500,000人(平成20年度)
			2. 市民のまちづくりへの期待度(地域活動への参加比率)	33.7%(平成13年度)	40%(平成20年度)
			3. ヒューマンスケールの回遊性(氷川参道の自転車交通量)	1580台/12時間(平成14年度)	1800台/12時間(平成20年度)



関連事業(区画整理事業)大宮駅西口第四地区施工イメージ

提案事業(事業活用調査)
大宮駅西口第四地区総合基本設計
[商業機能の拡充及び風格のある顔づくり]



大宮駅東口都市再生プラン



氷川参道歩車分離事業(一部施工済)